

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2020 年 7 月分)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い開催を中止し、審議員による書類審議を実施。

[審議員] 青木眞弥、池ノ辺直子、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、村上典吏子、湯浅正敏
(以上 50 音順、敬称略)

審議事項： [審議番組] WOWOW PLUS MUSIC ー深夜 1 時の音楽タイムー
「前野健太のどーして歌は生まれんの」

<番組概要>

今や歌手だけでなく俳優としても大活躍のシンガー・ソングライター前野健太。

この番組は、前野健太が念願だったという“歌”の紀行番組。

彼自身が愛してやまない“歌”の生まれたふるさとを訪ね、楽曲が生まれたその土地の風景を眺め、そこで暮らす人々とふれあい、当時のエピソードや誕生秘話などを探す旅に出かけます。さらには、前野健太自身もそこで見た景色、感じた思いを新しい“歌”として生み出す斬新な企画のプログラムです。

審議内容： ■審議員意見

- ・前野健太が念願だったという”歌”の紀行番組で、彼の人柄が良く出ており、彼が好きな歌の生まれた場所を巡って行くという企画にも期待が持てる。番組のゆったりとした雰囲気も、深夜という放送時間に合っていて良かった。
- ・歌番組であり旅番組のような雰囲気、前野健太のキャラクターや旅先での人情味溢れる交流場面も観やすさにつながり楽しく視聴できた。良い意味のゆるさもあるが、ゴールの新曲作りだけはもう一工夫あるとビシッと着地が締まったのではないか。
- ・全体的に楽しい内容であり、熱海の歴史と現在を感じさせる旅番組の面白さがあった一方で、音楽番組的には肝心の、熱海へ行くきっかけとなったちあきなおみの歌「ねえあんた」について、前後編のどちらかでも良いのできちんと歌詞を紹介し、歌も聴かせて欲しかったと思う。
- ・昭和のレトロな香りがするかつての熱海を再発見できる内容ではあ

ったが、番組のコンセプトであるちあきなおみの歌に深く迫る内容がなかったので、やや物足りなさは否めない印象だった。

- ・今回の目的地である熱海を旅する中で、昭和のレトロな香りを残す一面は確かに伝わってきたが、ただそれだけの紹介ではなく、もっと現代的な魅力なども紹介できると良かったのではないかな。
- ・前野健太のパーソナリティーを生かした番組にするのか、“歌”を探すという企画を打ち出した番組にするのか、その2つのバランスをどのように取るのかが今後の番組作りでも課題となる。
- ・前野健太がちあきなおみの歌から感じたものを求め、熱海の街をぶらぶらと歩きながらカメラに話しかけていく様子には、スタッフとの信頼感も伝わってきて好感が持てる。旅先で出会う人たちによる影響が強く出る番組だと思うので、続く津軽半島編にも興味を惹かれた。

連絡事項： 次回番組審議会は、2020年10月15日（木）開催予定。

以上